

三菱UFJ / マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド 〈為替ヘッジなし〉 (毎月決算型)

愛称：世界のいしずえ

追加型投信 / 内外 / 債券



作成対象期間：2023年5月11日～2023年11月10日

第132期決算日：2023年6月12日 第135期決算日：2023年9月11日

第133期決算日：2023年7月10日 第136期決算日：2023年10月10日

第134期決算日：2023年8月10日 第137期決算日：2023年11月10日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第137期末 (2023年11月10日)

基準価額 9,129円

純資産総額 153,874百万円

第132期～第137期

騰落率 + 7.0%

分配金合計(*) 420円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間（過去6ヶ月）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

■運用のポイント

米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めに積極的な姿勢を示したこと等から米金利は上昇しました。今後12ヵ月間で、家計と政府全体の消費データは低下し、インフレは引き続き低下傾向にあるものの目標範囲の上限に留まり、失業率は顕著に上昇し始めると予想しています。こうした見通しのもと、当ファンドではデュレーション（平均回収期間や金利感応度）を市場対比で長めの水準としています。今後もFRBの金融政策やインフレの動向については注視していきます。

世界的な景気後退懸念の高まり等を背景にスプレッド（国債との利回り格差）は小幅に拡大する可能性が高いとみています。そのような環境下、より循環性のある銘柄へのエクスポージャーを管理すること等により、ディフェンシブなポジションを継続しています。セクター配分では、エネルギーセクターについて、期間末にかけてオーバーウェイト幅を徐々に縮小した一方、通信セクターについては当期間を通じてエクスポージャーをアンダーウェイトからオーバーウェイトに引き上げました。世界的な景気後退への懸念が高まるなか、需要の低迷とインフレ圧力に対してよ

り脆弱であると考えられる発行体へのエクスポージャーを厳しく評価し、エクスポージャーの売却を継続する一方で、この環境下を乗り切れる投資機会への乗り換えを行います。

■運用環境の見通しと今後の運用方針

今後は景気後退リスクが高まる中で主要中央銀行による金融引き締め政策の動向に注視しています。そのような環境下、銘柄選択については、格付け動向に注視しながらクオリティの高い銘柄を中心に投資を行う方針です。デュレーションについては、適宜債券先物を活用しつつ、状況に応じて機動的に対応します。



マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド
シニア・ポートフォリオマネージャー
アンドリュー・ヴォンセゾフ



マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド
シニア・ポートフォリオマネージャー
ネイサン・ブーン

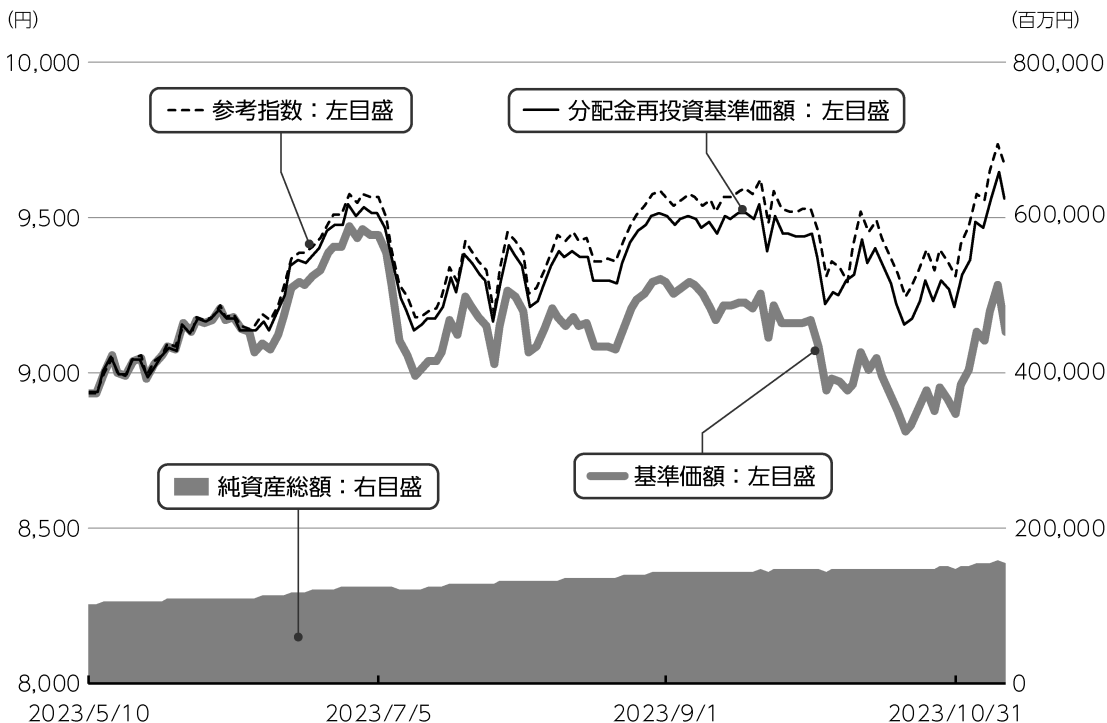
上記は、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

運用経過

第132期～第137期：2023年5月11日～2023年11月10日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第132期首	8,934円
第137期末	9,129円
既払分配金	420円
騰落率	7.0%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.0% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

基準価額の変動要因

上昇要因

米ドルが対円で上昇したこと等。

下落要因

米金利の上昇等を受けてインフラ債券市況が下落したこと等。

※参考指数は、合成インデックス (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2023年5月11日～2023年11月10日

1万口当たりの費用明細

項目	第132期～第137期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	61	0.663	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(33)	(0.365)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.276)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) その他費用	1	0.008	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	62	0.673	

作成期中の平均基準価額は、9,136円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

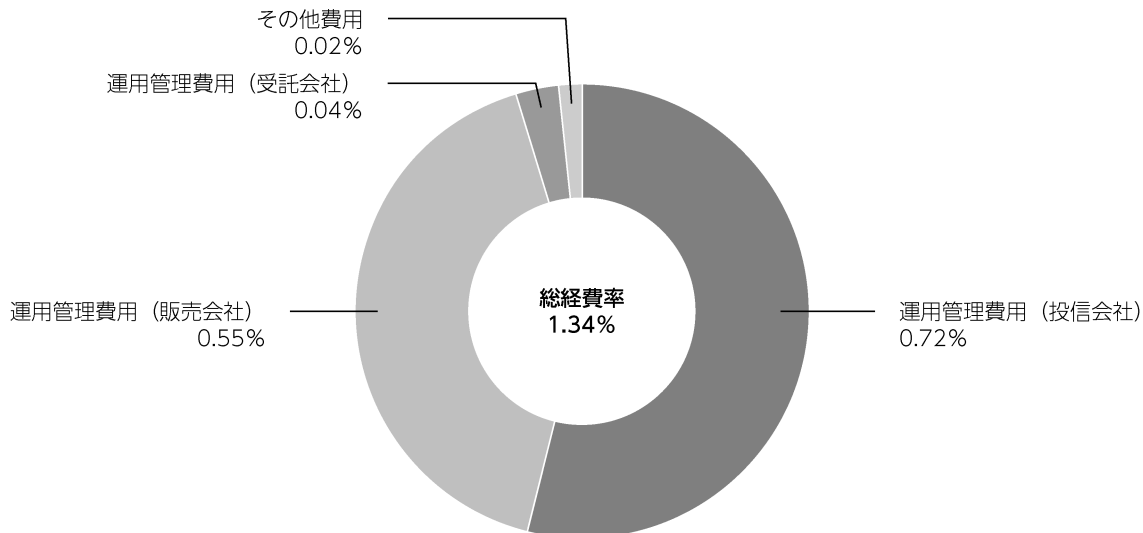
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.34%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

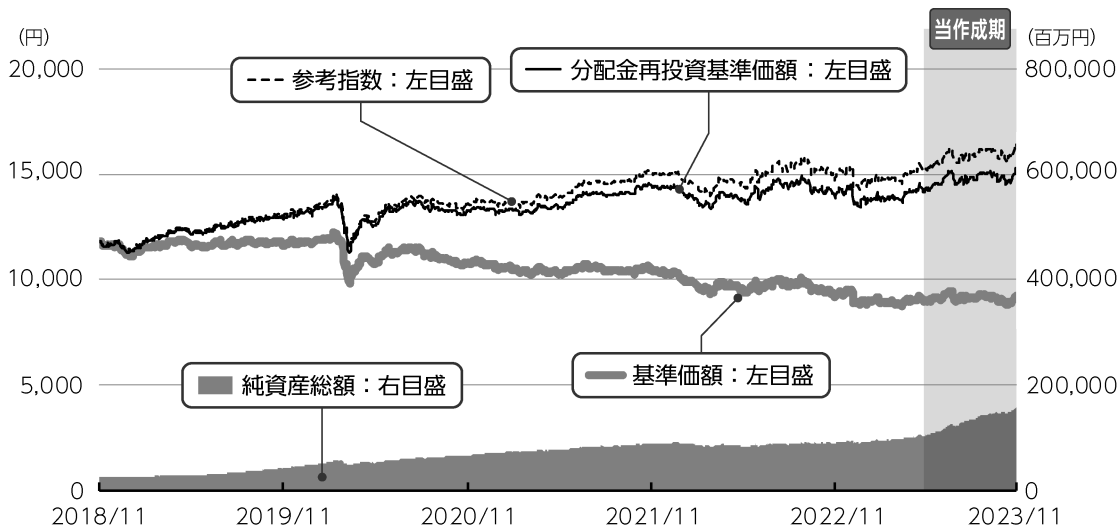
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年11月12日～2023年11月10日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2018年11月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/11/12 期初	2019/11/11 決算日	2020/11/10 決算日	2021/11/10 決算日	2022/11/10 決算日	2023/11/10 決算日
基準価額 (円)	11,824	11,635	10,766	10,511	9,329	9,129
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,200	1,200	1,200	900	840
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.1	2.9	9.4	-2.7	7.3
参考指数騰落率 (%)	—	10.2	4.3	11.4	-0.4	8.5
純資産総額 (百万円)	25,227	41,072	65,421	88,565	89,597	153,874

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、合成インデックス (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第132期～第137期：2023年5月11日～2023年11月10日

投資環境について

▶ 債券市況

インフラ債券市況は下落しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）により現状の高い金利水準が長期間維持されるとの見方が強まったこと等を背景に米金利が上昇したこと等がマイナスとなり、インフラ債券市況は下落しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で上昇しました。

F R Bによる積極的な金融引き締め姿勢等を背景に日米短期金利差が拡大したこと等から、米ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド

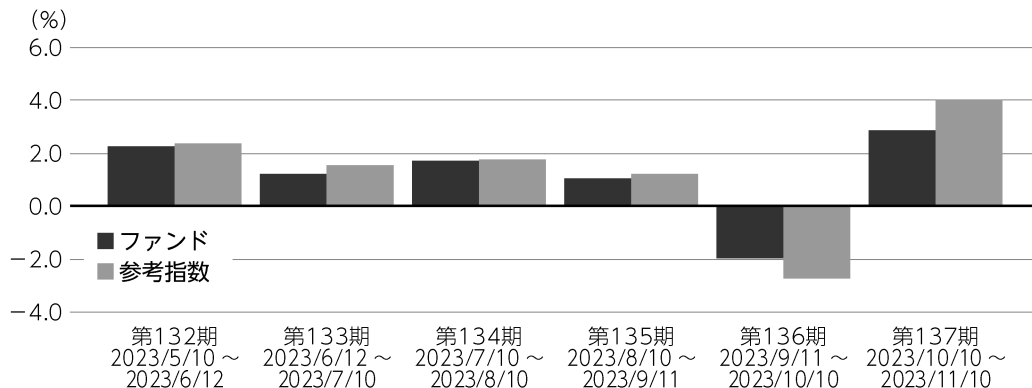
世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。

2023年9月末時点において、デュレーションについては市場対比で長めとしました。格付別では投資適格の中でも相対的に利回りが高いB B B 格の組入比率を市場対比多めとしました。セクター別では通信を市場対比多めの配分としました。

第132期～第137期：2023/5/11～2023/11/10

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は合成インデックス（円換算ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第132期 2023年5月11日~ 2023年6月12日	第133期 2023年6月13日~ 2023年7月10日	第134期 2023年7月11日~ 2023年8月10日	第135期 2023年8月11日~ 2023年9月11日	第136期 2023年9月12日~ 2023年10月10日	第137期 2023年10月11日~ 2023年11月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	70 (0.767%)	70 (0.763%)	70 (0.757%)	70 (0.755%)	70 (0.776%)	70 (0.761%)
当期の収益	35	29	33	34	26	37
当期の収益以外	35	40	36	35	43	32
翌期繰越分配対象額	2,522	2,484	2,450	2,416	2,374	2,342

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶三菱UFJ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

マザーファンドへの投資を通じて、主として世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を高位に組み入れる運用を行います。

▶マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド

今後は景気後退リスクが高まる中で主要中央銀行による金融引き締め政策の動向に注視しています。そのような環境下、銘柄選択については、格付け動向に注視しながらクオリティの高い銘柄を中心に投資を行う方針です。デュレーションについては、適宜債券先物を活用しつつ、状況に応じて機動的に対応します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

▶ その他

- ・該当事項はありません。

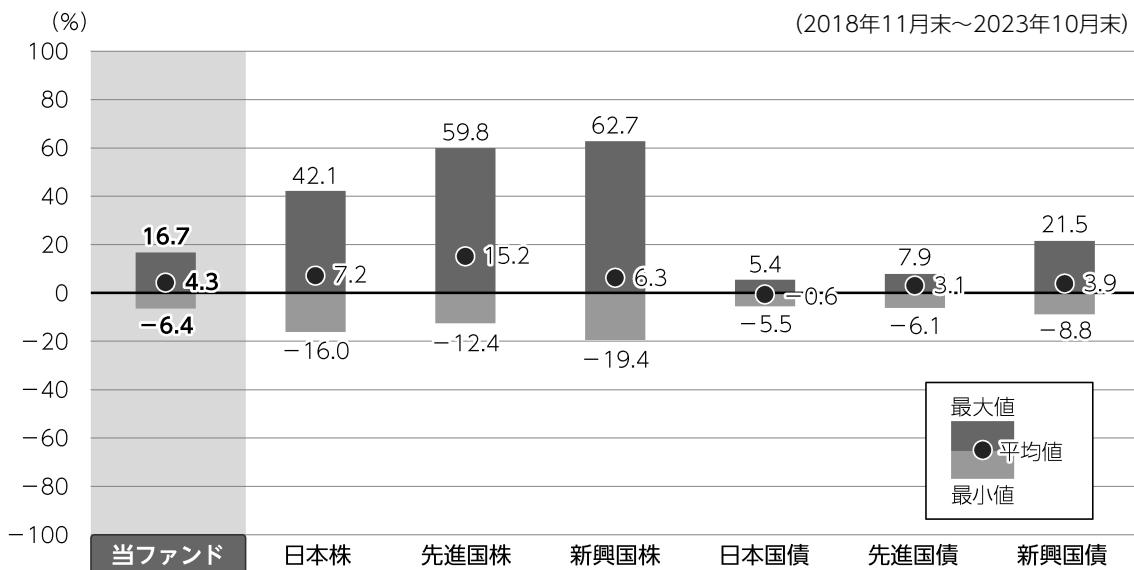
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2032年5月10日まで（2012年6月1日設定）
運用方針	マコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要なサービスを提供する企業をいいます。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの債券等の運用にあたっては、マコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>マコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■マコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド</p> <p>世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

「マコーリー」の商標は、マコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。Macquarie Bank Limited（以下「MBL」といいます）を除き、当資料に言及しているマコーリー並びにマコーリー関連会社は何れも1959年銀行法（オーストラリア連邦）上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年11月から2023年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年11月10日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第137期末 2023年11月10日
マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド	99.2%

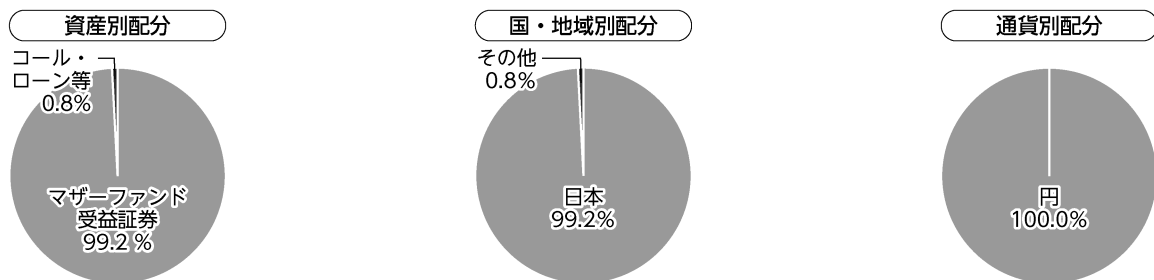
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目		第132期末 2023年6月12日	第133期末 2023年7月10日	第134期末 2023年8月10日	第135期末 2023年9月11日	第136期末 2023年10月10日	第137期末 2023年11月10日
純資産総額	(円)	110,398,750,605	121,560,469,203	133,454,566,764	142,373,266,641	145,258,037,244	153,874,562,133
受益権口数	(口)	121,832,521,132	133,595,971,423	145,388,910,262	154,738,459,235	162,394,208,800	168,562,437,833
1万口当たり基準価額	(円)	9,062	9,099	9,179	9,201	8,945	9,129

※当作成期間中(第132期～第137期)において追加設定元本は60,639,536,484円
同解約元本は 6,742,584,091円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

290690

2023年5月10日現在

組入上位ファンドの概要

マッコーリー グローバル・インフラ債券マザーファンド

基準価額の推移

2022年5月10日～2023年5月10日



1万口当たりの費用明細

2022年5月11日～2023年5月10日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.005 (0.005)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.009 (0.009) (0.000)
合計	3	0.014

期中の平均基準価額は、21,896円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

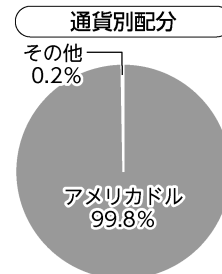
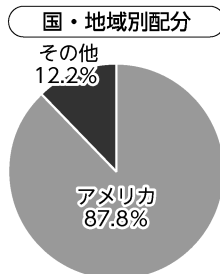
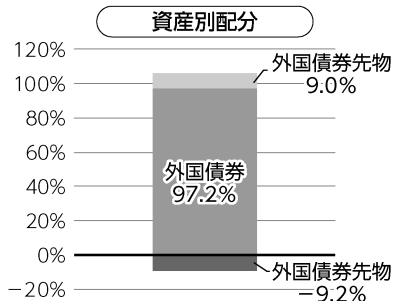
(組入銘柄数：380銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	3.875 T-MOBILE US 300415	債券	アメリカ	社債	1.4
2	4.35 AT&T INC 290301	債券	アメリカ	社債	1.4
3	STEP DEUTSCHE TEL 300615	債券	オランダ	社債	1.1
4	2.4 CONOCOPHILLIP 250307	債券	アメリカ	社債	1.1
5	3.5 T-MOBILE USA 310415	債券	アメリカ	社債	1.0
6	3.95 DISCOVERY CO 280320	債券	アメリカ	社債	1.0
7	4.812 BP CAP MARK 330213	債券	アメリカ	社債	1.0
8	3.75 ENERGY TRANS 300515	債券	アメリカ	社債	0.9
9	5.25 ENERGY TRANS 290415	債券	アメリカ	社債	0.9
10	4.3 AMERICAN ELEC 281201	債券	アメリカ	社債	0.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示しています。

※国・地域別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションにて表示しています。「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『合成インデックス (円換算ベース) 』について

参考指数は、ブルームバーグ米国社債インデックスの公益、通信、エネルギー、運輸セクターの合成インデックス (円換算ベース) です。

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークであり、三菱UFJアセットマネジメントによる一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグの指数はブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグは、三菱UFJアセットマネジメントの関係会社ではなく、ブルームバーグは、三菱UFJアセットマネジメントが運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグの指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。合成インデックス (円換算ベース) は、ブルームバーグ米国社債インデックスの公益、通信、エネルギー、運輸セクターの各インデックス (米ドルベース) を合成したものをと、委託会社が計算したものです。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント